



カスタムルール

Workload Factory for NetApp Console

NetApp
October 07, 2026

目次

カスタムルール	1
NetApp Console のカスタムルールについて	1
概要	1
カスタムルールの仕組み	1
制限事項	1
ルール定義モデル	1
ルールライフサイクル	2
カスタムルールの例	2
次のステップ	3
NetApp Workload Factoryでカスタムルールを作成する	3
タスク概要	3
開始する前に	4
ルールを作成します。	4
AIの解釈を確認する	5
ルールをテストする	5
ルールを保存またはスケジュールする	6
トラブルシューティング	6
次のステップ	7
NetApp Workload Factoryのカスタムルールを管理する	7
ルールカタログを表示する	7
ルール結果を表示する	7
カスタムルールを編集する	7

カスタムルール

NetApp Console のカスタムルールについて

カスタムルールを使用すると、独自のアーキテクチャ標準と NetApp のベストプラクティスを、Well-architected ダッシュボードで設定、チェック、および適用できます。

概要

ルールビルダーを使用すると、平易な言葉で独自のベストプラクティスルールを作成できます。これらのルールは、すべてのリソースに対してチェックされます。

カスタムルールは、組織の基準、リスク制限、運用要件などを遵守させるのに役立ちます。これらは、一般的なベンダールールでは十分にカバーできない場合があります。



アカウント管理者がAI機能を無効にしている場合、ルールビルダーは利用できず、カスタムルールを作成することはできません。["AI機能の管理について"](#)。

カスタムルールの仕組み

カスタムルールは、AIを活用したプロセスによって、平易な言葉で書かれた指示を明確で構造化されたルールに変換します。AIは翻訳者および校正者として機能します。ルールを提案し、リクエストをどのように理解したかを説明し、ルールを保存またはスケジュールする前に承認を求めます。

このプロセスにより、以下のことが保証されます：

- ルールロジックは明確に定義され、エラーチェックも実施されています。
- 自由形式のコードは実行されません
- ルールを承認する前に、何が評価されるのかを正確に確認できます

制限事項

カスタムルールには以下の制限が適用されます：

- 自動修正機能は利用できません。提供されたガイダンスに従って、準拠していないリソースをご自身で修正してください。
- 各ルールは、1種類のリソースのみをチェックできます。複数のリソースタイプをチェックするには、それぞれ別のルールを作成してください。
- 過剰なスキャンを避けるため、最短の評価間隔は1時間です。
- ルールは読み取り専用であり、環境に変更を加えることはできません。

ルール定義モデル

各カスタムルールは、以下のコンポーネントで構成されます。

ルール名

ルールにユーザーが定義する名前。

説明

この規則が組織にとって重要である理由。

リソースタイプ

評価対象のFSxリソース（ファイルシステム、ボリューム、またはキャッシュ）。現在、ルールごとにリソースの種類は1つだけです。

スケジューラ

ルールの評価頻度（最小1時間、デフォルト24時間）。

条件ロジック

確認すべき具体的な基準。

評価範囲

どのリソースが評価されるか（対象となるすべてのリソース）。

修復ロジック

非準拠リソースへの対処方法に関する手動ガイダンス。

ルールライフサイクル

カスタムルールは、以下の状態を経て進行します。

ドラフト

ルールが作成されています。評価は行われません。

ドライラン

影響を受けるリソースを事前に把握するための、一度限りの評価。スケジュール設定前の検証に使用されます。

スケジュール済み（有効）

ルールは有効であり、定義されたスケジュールに従って実行されます。

Disabled

ルールは一時停止されていますが、削除されていません。再度有効化できます。

削除済み

ルールは永久に削除されました。

カスタムルールの例

以下の例は、一般的なカスタムルールを示しています。

生産量保護

「タグ『Prod』が付いているすべてのボリュームには、スナップショットポリシーがインストールされて

いる必要があります」

このルールは、会社の要件に従って本番環境のボリュームを保護するためのスナップショットを自動的に作成します。

アーカイブボリュームの階層化

「『Archive』 タグが付いたすべてのボリュームには、階層化ポリシーを『All』に設定する必要があります」

このルールは、アーカイブされたデータをより安価なストレージに自動的に移動することで、コストを削減します。

ファイルシステム命名規則

「すべてのファイルシステムは、命名規則 'fsx-{environment}-{application}' に従う必要があります」

このルールは、ファイルシステムが組織の命名規則に準拠していることを検証し、管理とコスト配分を容易にします。

次のステップ

["カスタムルールを作成する"](#)

NetApp Workload Factoryでカスタムルールを作成する

平易な言葉で記述することで、カスタムルールを作成できます。NetApp Workload FactoryのAIルールビルダーは、リクエストをFSx for ONTAPリソースをチェックする検証済みのルールに変換します。

タスク概要

ルール作成プロセスでは、ルールの定義、AIによる解釈の確認、定期的な評価のスケジュール設定前の結果チェックといった手順を順を追って説明します。すべての手順においてお客様が主導権を持ちます。システムはお客様のプロンプトに基づいてルールを提案しますが、お客様が確認するまで処理は進みません。



アカウント管理者がAI機能を無効にしている場合、カスタムルールを作成することはできません。管理者に連絡するか、["AI管理について学ぶ"](#)。

制限事項

カスタムルールには以下の制限が適用されます：

- 自動修正機能は利用できません。提供されたガイダンスに従って、準拠していないリソースをご自身で修正してください。
- 各ルールは、1種類のリソースのみをチェックできます。複数のリソースタイプをチェックするには、それぞれ別のルールを作成してください。
- 過剰なスキャンを避けるため、最短の評価間隔は1時間です。
- ルールは読み取り専用であり、環境に変更を加えることはできません。

カスタムルールの例

以下の例は、一般的なカスタムルールを示しています。

生産量保護

「タグ『Prod』が付いているすべてのボリュームには、スナップショットポリシーがインストールされている必要があります」

このルールは、会社の要件に従って本番環境のボリュームを保護するためのスナップショットを自動的に作成します。

アーカイブボリュームの階層化

「『Archive』タグが付いたすべてのボリュームには、階層化ポリシーを『All』に設定する必要があります」

このルールは、アーカイブされたデータをより安価なストレージに自動的に移動することで、コストを削減します。

ファイルシステム命名規則

「すべてのファイルシステムは、命名規則 'fsx-{environment}-{application}' に従う必要があります」

このルールは、ファイルシステムが組織の命名規則に準拠していることを検証し、管理とコスト配分を容易にします。

開始する前に

カスタムルールを作成して実行する前に、以下のものを用意してください：

- AWS認証情報を読み取り専用アクセスで設定しました。["Workload FactoryにAWS認証情報を追加する"](#)。
- 閲覧権限を持つ ONTAP 認証情報があります。["Workload FactoryにONTAP認証情報を追加する"](#)。
- クラウド ストレージ システムへの接続が、リンクまたはConsoleエージェントで構成されていること。["リンクを作成して関連付ける"](#) または ["Consoleエージェントをデプロイする"](#)。
- カスタムルールの作成には、NetApp の Bedrock AI サービスが使用されることを理解しています。

ルールを作成します。

ルールビルダーを使用して、平易な言葉で独自のベストプラクティスルールを作成してください。これらのルールは、すべてのリソースに対してチェックされます。

手順

1. ["NetApp Console"](#)にログインします。
2. メニュー  から、ワークロード > **Well-architected** を選択します。
3. 「Well-architected」メニューから「Rule builder」を選択します。

ルールビルダーを開くと、カスタムルールを作成するのに役立つサンプルプロンプトが表示されます。「プロンプトをコピー」を選択すると、サンプルプロンプトがAIダイアログのテキストボックスにコピーされます。

4. 「ルールを作成」フィールドに、ルールの説明を自然言語で入力してください。以下の点について、できるだけ具体的に説明してください。
- チェックしているリソースの種類（ファイルシステム、ボリューム、またはキャッシュ）。
 - 検証しようとしている条件は何ですか？
 - コンプライアンスを定義する基準値とは何か。
 - このルールが重要な理由（任意だが推奨）。

5.  を選択します。

AIがあなたの入力内容を分析し、ルール定義を生成します。

AIの解釈を確認する

ルールビルダーには以下が表示されます：

- 解析結果：AIが平易な言葉であなたの指示をどのように理解したか。
- ルール定義：リソースタイプ、条件ロジック、評価基準を含む構造化されたルール。
- 理由：AIがあなたのプロンプトをこのように解釈した理由。
- 信頼度指標：システムが解釈をどの程度確信しているかを示します。

手順

1. 解釈内容を確認し、意図した内容と一致しているかどうか確認してください。

ルール定義が正しいことを確認してください。解釈が不明確または間違っている場合、システムは次のような質問をする場合があります。* どのリソースをチェックする必要がありますか？* コンプライアンスを定義する値または制限は何ですか？* このルールはどのくらいの頻度で実行すべきですか？

2. AIからの質問に回答してください。

AIは、ニーズをより深く理解するために、いくつかの選択肢の中から選択するよう求める場合があります。各質問に回答し、「続行」を選択するか、「スキップ」を選択してオプションの質問をスキップしてください。

3. すべての質問に回答したら、**Continue** を選択してルールを作成してください。

ルールをテストする

ルールをスケジュールする前に、一度テストを実行して、どのリソースに影響するかを確認してください。

手順

1. 「ルールの検証」を選択します。

システムは、対象となるすべてのリソースを、お客様のルールロジックに基づいて評価します。

2. 検証結果を確認します。

- 評価済みリソース：チェックされたリソースの総数

- 準拠：ルール基準を満たすリソース
- 非準拠：基準を満たしていないリソース
- 評価失敗：評価できなかったリソース（エラーの詳細を含む）

3. 一部のリソースの評価に失敗した場合は、エラーの原因を確認してください。

- **AWS**認証情報エラー：特定のリソースに対して読み取り専用権限が不十分な場合があります
- 接続エラー：リンクまたはエージェントが特定のファイルシステム用に構成されていない可能性があります
- **ONTAP**権限エラー：閲覧ユーザーには特定のリソースへのアクセス権がない可能性があります

ルールを保存またはスケジュールする

ルールをテストした後、下書きとして保存するか、定期的に行うように設定できます。

手順

1. 次のいずれかを実行します。

- 定期的な評価をスケジュールするには、評価頻度（最小1時間、デフォルト24時間）を設定し、*スケジュール*を選択します。このルールは有効になっており、定義されたスケジュールに従って実行されます。
- スケジュールを設定せずに保存するには、「下書きとして保存」を選択してください。ルールは保存されますが、スケジュールされるまでは評価されません。
- ルールを破棄するには、「破棄」を選択してルールの作成をキャンセルし、最初からやり直してください。

結果

お客様のカスタムルールが作成され、ルールカタログに登録されました。スケジュールを設定すると、指定された頻度でFSx for ONTAPリソースをチェックします。

トラブルシューティング

利用可能なファイルシステムがありません

AWS 認証情報を設定し、環境に少なくとも 1 つの FSx for ONTAP ファイルシステムがあることを確認してください。ルールビルダーは、ルールを適用するためにファイルシステムを必要とします。

信頼性の低い解釈

さらなる情報が必要です。質問に回答するか、リソースの種類、制限、条件について明確な詳細を盛り込んでプロンプトを書き直してください。

部分的な検証失敗

どのリソースが失敗したか、そしてその理由を確認してください。よくある原因としては、リンクやエージェントの設定が欠落している、あるいは権限が不足しているなどが挙げられます。問題を修正してから、再度検証してください。

曖昧なプロンプト

確認したい内容をもっと具体的に教えてください。リソースの種類、条件、およびしきい値を含めてください。参考として、プロンプトの例文をご覧ください。

ルールは複数のリソースタイプを対象としています

リソースの種類ごとに個別のルールを作成してください。ルールごとにサポートされるリソースタイプは1種類のみです。

次のステップ

["カスタムルールの管理"](#)

NetApp Workload Factoryのカスタムルールを管理する

ルールカタログは、すべてのカスタムルールを管理できる場所です。各ルールの詳細を確認したり、結果をチェックしたり、ルールの有効/無効を切り替えたりできます。

ルールカタログを表示する

ルールカタログには、作成したすべてのルール、そのステータス、スケジュール、および最新の結果が表示されます。

手順

1. いずれかの方法でログインしてください["コンソールエクスペリエンス"](#)。
2. メニュー  を選択し、次に **Rule builder** を選択します。
3. ルールを表示 をクリックして、ルールカタログを開きます。

ルール結果を表示する

結果には、ルールに準拠しているリソースと準拠していないリソースが表示されます。

手順

1. ルール一覧で、確認したいルールをクリックします。
2. 「すべての実行結果」タブを選択します。
3. 各実行の結果を確認するには、「詳細を表示」を選択してください。

一部の項目でチェックが失敗した場合は、エラーメッセージを読んで理由を確認してください。よくある原因としては、接続の問題、権限の不足、またはリンクが設定されていないことなどが挙げられます。

カスタムルールを編集する

ルールのロジック、スケジュール、その他の設定はいつでも変更できます。ルールを編集すると、ルールビルダーが開き、そのルールの現在の設定が表示されます。

手順

1. ルール一覧で、編集したいルールをクリックします。
2. *編集*をクリックします。

ルールがドラフトモードに切り替わり、ルールビルダーが開きます。

3. ルールプロンプトを編集するか、会話機能を使ってルールを改善してください。
4. AIによる最新の解釈とルール定義を確認してください。

システムは、API呼び出しやロジックなど、現在のルールからの変更点を表示します。

5. 変更内容に応じて、以下のいずれかの操作を行ってください：
 - 軽微な変更を行った場合は、*保存*をクリックしてルールを更新してください。
 - 大幅な変更を行った場合は、*ルールの検証*をクリックして変更をテストし、*スケジュール*をクリックしてルールを保存してスケジュールするか、*下書きとして保存*をクリックしてスケジュールせずに保存してください。
 - 変更を破棄するには、*以前のバージョンに戻す*をクリックします。ルールは元の定義に戻り、編集モードを終了します。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。